

4/24 3.7.2

# 改憲案 事実上すり合わせ

## 憲法審で自公維

4月23日の衆院憲法審査会に続き、20日の審査会でも、公明、維新、国民党の各党らによる改憲案の事実上のすり合わせの議論がおこなわれました。警戒すべき危険な動きです。（中村寅一）

### 各党の明記案

20日の同審査会で公明党の北側一雄副代表は、「規定と読まれる余地を残す」としました。公明党が党の「9条の1」、2項を残し自衛隊を明記する案については初めてです。

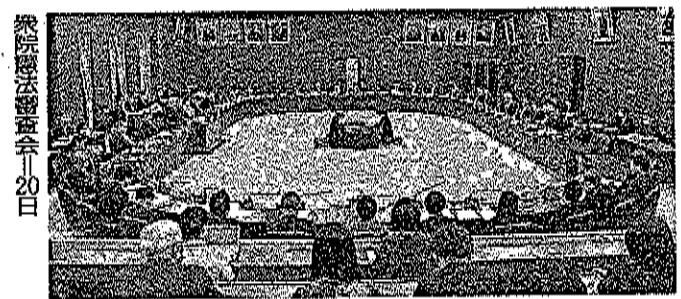
ついて、「必要な国軍の措置を取ることを妨げず」としており、「賛成できない」と述べました。「妨げず」と述べました。北側氏は同年5月19日の表現は「9条2項の例外」

同審査会で、憲法72条が73

## 9条めぐる危険な動き

13日の同審査会では、公明党の浜地雅一議員が、「北側一雄副代表は、国民党の案に反対を表明する」、「自衛隊を明記する」案については初めてです。

【検討を進める】と前向きに踏み込みました。



改憲原案の審査権限を持つ憲法審査会の場で、改憲勢力がそれぞれの自衛隊明記案を持ち寄り、本格的な議論をはじめるところです。

与党幹事長は、「国防という機能的な側面と民主的統制という組織的側面は密接不可分であり、同じ条文案のすり合わせをなし」と始めることは重大です。

### 批判広げる時

安倍政権のもとでの集団的自衛権行使認可を継ぎ、岸田国政権が敵基地攻撃能力の保有で専守防衛を投げ捨てようとしている中で、自公とその補完勢力が改憲を論する資格などありません。車の根から敵しい批判を広げる時です。

に位置づけるのが自然」な立場を説く。自衛隊を「条に明記する国民党案について主張しました。

「日本国憲法制定以来の欠落部分を補つことにより、日本維新的会の小野泰輔

議員も、公明党の主張に対し、「自衛隊を「条に書き加えたい国民党や我が党の案の方が適切」と述べました。維新は昨年5月に「9条の2」として「行政各部の」として「自衛のための実力組織としての自衛隊を保持する」と、「条文案を提示

しています。